

1150

第一八八番

保存期限
決裁指定
執行指定

了結	領受	出提	領受	號番
大正 年 五月 十四日	大正 年 七月 八日	大正 年 月 日	大正 十五年 七月 二日	要旨第一一〇

(決裁)行後 覽回	連帶
局長	局長

長課	長課
----	----

大臣
朱

昭和二年受
昭和二〇八號

局長
課長

昭和十七年陸軍省
文部省
昭和二〇八號

受領
番號
件名

軍事機密
東軍機、由良、東條、多田、田中、志保、社、ケル
一柳、保、星、砲、名、麻、止、関、不、件

起元應(課)名
老謀卒初

審案
筆記者

政務次官
參與官
回付
決裁前
連帶
課名
重事
執行(決裁)後
回覽
課名

1150

八

保存期限

決裁指定

政務次官回付 決裁前後連帶
參與官回付 決裁前後連帶

重事

録

録

録

決行(決裁)後
回覧(課名)

起元廳(課名)

老謀本部

東事係、由長、東事係、下用、玉塞、社カ
一部係、星地、古、廉止、関、云、件


件番受
名號領

主務局課大臣官房

了結	領受	出提	領受	號番
大正	大正	大正	大正	要日才一〇
年	年	年	年	
五月	七月	七月	七月	
十五日	十五日	十五日	十五日	




連帶 局長

局長



長課

長課

局長 務

官

官 務

閣



主務課長

高級副官

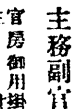
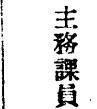
參與官



主務課員

主務副官
官房御用掛
主計

書記官



審案
筆記者

陸機密

冬謀總長一因春

首欵伴、年レ七月廿四日海峽機牙
三二号中一ヲ以テ照入方ノ頃異存無之

陸機密第五

五

七月三十日

臣

耳

軍事機密

陸軍省 参謀部 第一號

本参謀部 参謀第一號

15 7 28

西天條

陸軍省 参謀部 第一號

東京灣、由良、舞鶴及下關要塞ニ於ケル

一部堡壘砲臺廢止ニ關スル件照會

大正十五年七月廿四日 参謀總長 鈴木 莊

陸軍大臣 宇垣 一成 殿

東京灣、由良、舞鶴及下關要塞ニ於ケル一部堡壘砲臺ヲ左記ノ如ク廢止シ度異存無之ハ 允裁ヲ仰キ度

左記

東京灣要塞第二海堡

由良要塞 生石山堡壘 大川山堡壘

舞鶴要塞 建部山堡壘

1152

三ノ

陸

軍

下關要塞 火ノ山第一乃至第四砲臺、門司砲臺
右ハ隨時之ヲ廢止ス

理 由

- 一、要塞整理作業ノ進捗ニ件ヒ豊豫要塞建設セラレ内海ノ領有確實トナレルヲ以テ從來内海方面ノ防備ニ任シタル下關要塞火ノ山各砲臺及門司砲臺ハ之ヲ存置スルノ必要ヲ認メス
- 二、東京灣要塞震災復舊作業ノ進捗ニ件ヒ同要塞ノ威力著シク復活セルヲ以テ第二海堡ハ之ヲ存置スル必要ヲ認メス
- 三、由良要塞生石山堡壘、大川山堡壘及舞鶴要塞建部山堡壘ハ其位置及設置ノ目的ヨリ見テ要塞防禦ノ要求ニ適合セサルヲ以テ廢止スルヲ適當ト認ム

1154

決裁指定
大臣

閣

房官臣大		課局務主		證認濟裁決		大臣		件番受		連帶	
丁結	領受	出提	領受	號番		次官		號額		課名	
大正	大正	大正	大正	第155号		次官		15年		舞鶴要塞	
年	年	年	年	舞鶴		高級		第33号		舞鶴	
月	月	月	月	連		副官		第23号		舞鶴	
日	日	日	日	帶		主務		第23号		舞鶴	
覽	後回	決行	連	局長		參事官		廳名		舞鶴	
長	局	長	局	局長		副官		舞鶴		舞鶴	
長		課		課		課		舞鶴		舞鶴	
長		課		課		課		舞鶴		舞鶴	
主務		主務		主務		主務		舞鶴		舞鶴	
課員		課員		課員		課員		舞鶴		舞鶴	
主務		主務		主務		主務		舞鶴		舞鶴	
課員		課員		課員		課員		舞鶴		舞鶴	
主務		主務		主務		主務		舞鶴		舞鶴	
課員		課員		課員		課員		舞鶴		舞鶴	
主務		主務		主務		主務		舞鶴		舞鶴	
課員		課員		課員		課員		舞鶴		舞鶴	
主務		主務		主務		主務		舞鶴		舞鶴	
課員		課員		課員		課員		舞鶴		舞鶴	
主務		主務		主務		主務		舞鶴		舞鶴	
課員		課員		課員		課員		舞鶴		舞鶴	

舞鶴要塞 舞鶴

陸軍 3.4.2 銃砲課

舞鶴

1155

舞鶴 舞鶴 舞鶴

舞鶴要塞



舞鶴

審案筆記者



五

銃砲課



1155

無鑑要地也

設



建部山堡壘ハ其位置・設置ノ目的ニ適合
 セサルニ至ラズタル爲 大正十五年八月 御裁可ク至テ
 廢止セラレヌルモノナリ 本件ハ之ニ因テ不要ニ帰シ
 免諸物件ノ處理ニ因シ指令ヒルモノナリ、

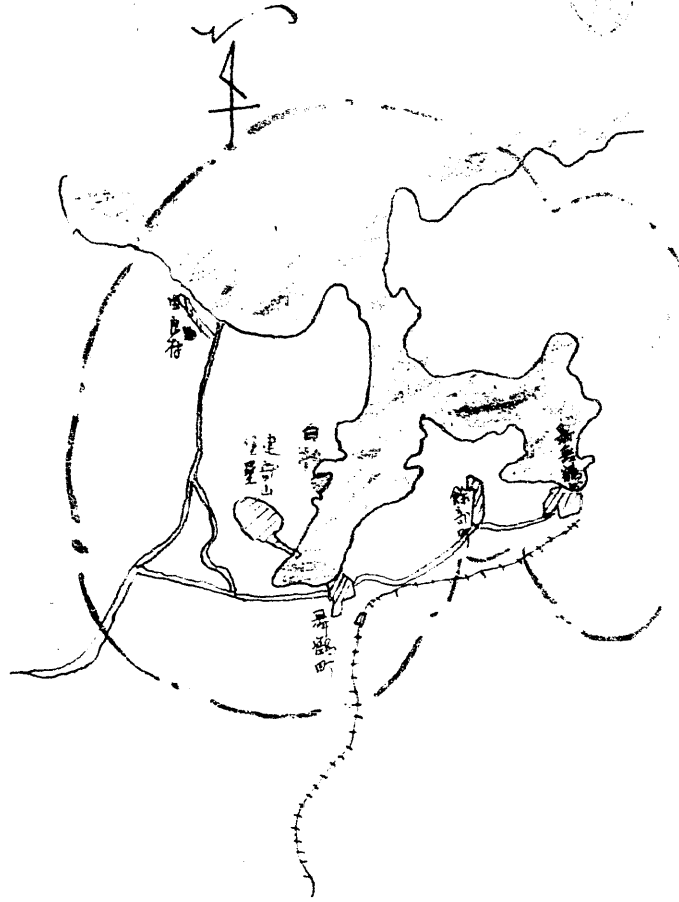
軍機券ニ一三〇
 宛テ送付ス。今也

香英事記台



舞鶴要地草

1156



陸密 舞鶴要塞司令官へ指令案

大正拾五年拾月九日附舞鶴要塞司令第一三九號伺
之通 實施差支ナシ

四月十日

陸密 副官より築城部本部長へ通牒

首題ノ件ニ関シ別紙寫ノ通舞鶴要塞司令官ヨリ伺出アリ本日認可アリタルニ付為念
通牒ス

陸密第一二二號 四月十日

軍事機密

第十六師 第三七 號
團司令部 大正十五年十月十一日

省 15 10 15
時 8
午後 8 時

大正十五年十月十一日

省 13

建部山堡星廢止之關スル件伺

大正拾五年拾月九日

舞鶴軍基司令官 細田初

陸軍大臣宇垣一成殿

首題ノ件ニ關シ八月二十七日附陸機密第五九號
通牒ニヨリ去他並ニ防衛系官造物處理ニ關シ別
紙意見書相添此致相伺候也

陸軍

本案送進

本伺書類中監

新設官、承スルヲ以

上達送進セシメ

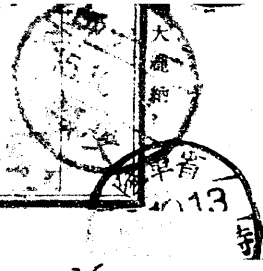
保司ノ事

兵部省ハ本年四月他務

新舎不用

既砲隊ヲ回石

新



元野
別

軍

本案遷延ノ理由

本伺書類中監守衛舎移築ハ
新カ造リ屬スルヲ以テ令達ノ関係
上遷延セシメナリ

社

兵部ハ本年四月他移轉ニ付
1159 衛舎不用

兵部課長 田原 二月二十四日

軍

1160

監守衛舎移築之圖に於て米年度
經費之指上を豫定したる以て其
保留一事

午前
防備課

1911

防	衛	營	造	物	名称	数量	処分方法	備考
倉庫	倉庫	倉庫	軍道	標石	工場地	一	撤去ノ上使月入	同
砲台	砲台	砲台	砲台	砲台	砲台	一	撤去ノ上使月入	同
砲台	砲台	砲台	砲台	砲台	砲台	一	撤去ノ上使月入	同
砲台	砲台	砲台	砲台	砲台	砲台	一	撤去ノ上使月入	同
砲台	砲台	砲台	砲台	砲台	砲台	一	撤去ノ上使月入	同
砲台	砲台	砲台	砲台	砲台	砲台	一	撤去ノ上使月入	同
砲台	砲台	砲台	砲台	砲台	砲台	一	撤去ノ上使月入	同
砲台	砲台	砲台	砲台	砲台	砲台	一	撤去ノ上使月入	同
砲台	砲台	砲台	砲台	砲台	砲台	一	撤去ノ上使月入	同
砲台	砲台	砲台	砲台	砲台	砲台	一	撤去ノ上使月入	同
砲台	砲台	砲台	砲台	砲台	砲台	一	撤去ノ上使月入	同

國防用土地及防備遺物處理ノ意見

処分方法

左記

地							土				種作物 陸砂産物	
計				敷地	交通路	建部以 運賃同						
12.1	12.2	12.3	12.4	12.5	12.6	12.7	12.8	12.9	12.10	12.11	12.12	
當今現状ノ陸砂ニ於テ管理ス												

別紙参考資料
管理・保管ス
四月二十日防

147-88 製

1163

保存期限
永
決裁指定
次
決行指定
閣

大臣		政務 次官		件名 密受第二〇八號 第二海堡防禦營造物除籍関係件 東京灣要塞 起元廳(課名)
局長	主務	次官	政務 次官	
局長	主務	高級 副官	參與官	
局長	主務課員	主務副官 官房御用掛 計掛	書記官	
了結 大正 年 月 日		領受 大正 年 三月 六日		受領 號 密受第二〇八號
提出 大正 年 五月 六日		領受 昭和 二年 四月 二六日		番 號 密受第二〇八號
(裁決)行決 覽回後		帶連		審案 筆記者
局長		局長		審案 筆記者
局長		局長		審案 筆記者
局長		局長		審案 筆記者

政務次官
參與官
回付
決裁
前後
連帶
課名



決行(決裁)後
回覽
課名

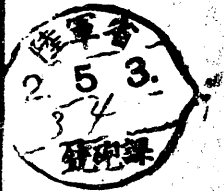


表
目

陸密東京灣要塞司令官（指令案）（築城部本部在田）

三月十一日附工密發第三號同、通密負施

支ナシ

陸密東京灣要塞司令官
一七七
五月九日

築城部本部經由

三〇八號 四月廿六日

第二海堡防禦工事進捗報告書

昭和貳年參月拾壹日

東京海軍要務局令官三子石官

陸軍大臣 呈 送

震災ノ多ク破壊セラルル第二海堡防禦工事進捗別紙前書ノ通り全軍
此際除籍致度相伺フ

送テ本件ハ築城部本部長ト海軍海ニ付申添フ

案 本評送 甲 第六九號

昭和貳年參月廿九日

陸軍



決裁指定

閣

1921

大臣 次官	高級 副官	主務 副官	主務 官房	主務 課長	局長	主務局長			審案筆記者
						局長	主務 課長	局長	
参事官				主務局長			主務局長		
				主務局長			主務局長		
				主務局長			主務局長		

局長 主務

参事官

次官

高級 副官

主務 副官

官房 主計

主務 課長

主務 課員

局長

受領番
機密第一二二號其二廳名
名
堡壘砲台一部廢止ニ関スル件
長湯本新

連帶課名

軍務

銃砲

材料

69
陸軍省
15. 8. 19
午後 8 時
器材課

決行後回覽課名

軍務
第一三
陸軍省
15. 8. 16.
午後 2 時
砲兵課

陸軍部 次官ヨリ東京湾由良舞鶴

下関要塞司令官へ通牒

貴要塞(第二海堡)ハ隨時廢止スルコトニ定

メラレタルニ付依命通牒ス

追テ右堡壘砲台ノ取扱方ニ関シテハ左記

ノ通承知相成度

左記

八月十七日

一、廢止セラレハキ堡壘砲台ノ廢止實行ニ関

シテハ土地及營造物ノ處分ニ関スル意見ヲ

具シ陸軍大臣一同出ツルコト

但シ之カ為メ特ニ要スル經費ハ令達

豫算内ヨリ支辨スルモノトス

ニ廢止セラルヘキ堡壘砲台ニ於テ防禦營
造物ノ保存ニ関シテハ要塞戰備兵
器彈藥等ノ格納上必要ナル限度ニ修
繕ヲ行フコト

注意

（内）

由良行ハ（生石山堡壘大川山堡壘）ニ

舞鶴行ハ（建部山堡壘）ニ

下関行ハ（大ノ山第一乃至第四砲台明砲台）ニ

改ム

陸

尾

陸軍大臣官本殿長

次官ヨリ築城部本部長へ通牒

別紙堡塁砲台ハ隨時廢止スルコトニ定メラ

レシニ付依命通牒ス

追テ右堡塁砲台ノ取扱方ニ関シテハ左記

ニ據ルハキ首関係要員司令部官へ通牒

ニ置キタリ

左記

陸軍大臣官本殿長 五九 號 八月 廿七日

第一案 左記ニ全シ

説明ターゲット

次の原稿破損

7 年 10 月 16 日

主務者又は

撮影立会者 坂根嘉和 

アジア歴史資料センター

別紙

廢止セラレキ堡塁砲台調書

要塞名

堡塁砲台名

東京灣

第二海堡

由良

生石山堡塁、大川山堡塁

舞鶴

建部山堡塁

下関

大ノ山第一乃至第四砲台、門司砲台

陸軍

軍事機密文書第三二二號

參謀本部 參機第三二二號第三

陸軍省 15 8 3 午後8時 官房

陸軍省

陸軍省

東京灣、由良、舞鶴及下關要塞

一部堡壘砲臺廢止ニ關スル件通牒

大正十五年八月二日 參謀總長 鈴木 莊

陸軍大臣 宇垣一成 殿

首題ノ件七月三十一日左記ノ如ク御裁可被爲在

左記

東京灣要塞第二海堡

由良要塞 生石山堡壘 大川山堡壘

舞鶴要塞 建部山堡壘

下關要塞 火ノ山第一乃至第四砲臺、門司砲臺



軍工

軍志

1411

陸

軍

右ハ隨時之ヲ廢止ス

五